

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 愛の家

**目標達成計画書**

作成日: 平成 27年 06月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	ホームの頭文字を使った5つの理念を、玄関や事務所、職員名札の裏に明示し、常に理念を見ながら介護サービスが提供出来るように環境を整えているが、職員間で、理念の意義の理解に個人差があるので徹底を図っていく。	職員会議や、毎日の申し送り時に理念の意義について話し合い、理念を理解するためにも職員間で唱和し、日々の介護が、利用者本位の理念に沿ったサービス提供になっているかを検証し、常に介護の原点である理念を意識したケアに取り組んでいく。	12ヶ月
2	42	食事を楽しむことのできる支援	おやつ作りとミキサー食や個人に合わせた、おかず作りを今後も継続する。月に2、3回のレクレーションで同じ食事を食べ時間を共有しているので今後は、ご家族の方も参加頂きながら楽しみである、料理の質の向上に取り組んでいく。	昼食は厨房が検食を行い、夕食は夜勤者が検食を行なっているため、毎日記録に残してメニュー作成や調理に役立てていきたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。